

# 各議員の議案に対する賛否の状況（平成30年第3回定例会）

※○＝賛成 ×＝反対 退＝退席 欠＝欠席 除＝除斥 佐藤辰己議員は議長職のため表決権はありません。

件名	議決月日	議決結果	創生会							市民クラブ			緑政会					
			赤峰映洋	小野泰秀	小野順一	宮成昭義	生野照雄	衛藤正宏	沓掛義範	田嶋栄一	後藤雅克	衛藤竜哉	穴見真児	吉藤里美	嶺英治	内田俊和	川野優治	首藤正光
人権擁護委員候補者の推薦について(諮問第2号)	8月31日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について(諮問第3号)	8月31日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
人権擁護委員候補者の推薦について(諮問第4号)	8月31日	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
工事請負契約の締結について	9月12日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
平成29年度豊後大野市一般会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成29年度豊後大野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成29年度豊後大野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成29年度豊後大野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成29年度豊後大野市農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市公共下水道特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市浄化槽施設特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市上水道特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市病院事業特別会計歳入歳出決算認定について	9月27日	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市手数料条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市税特別措置条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市小規模給水施設普及支援事業分担金徴収条例の制定について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市隣保館条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
豊後大野市におけるあらゆる差別をなくし人権を擁護する条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
豊後大野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市旅館営業を目的とした建築の規制に関する条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市火災予防条例の一部改正について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の廃止について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度豊後大野市上水道特別会計未処分利益剰余金の処分について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市一般会計補正予算(第3号)	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市農業集落排水特別会計補正予算(第1号)	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市公共下水道特別会計補正予算(第2号)	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市浄化槽施設特別会計補正予算(第1号)	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市簡易水道特別会計補正予算(第2号)	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度豊後大野市太陽光発電事業特別会計補正予算(第1号)	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の処分について	9月27日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 総務常任委員会

平成30年7月12日～13日  
鹿児島県いちき串木野市・  
熊本宇城市

**い** ちき串木野市では、地域新電力の取り組みを視察。平成22年からさまざまな自然エネルギー・環境施策を展開。(株)いちき串木野電力を平成28年2月に設立し、電気の小売り事業に参入しました。

特徴的な施策は、2歳未満の子どもがいる家庭の基本料金を無料にする「はぐくみ応援プラン」や、地区公民館が契約すると公民館運営費として年1回5千円を寄付し、さらに各世帯が電力契約すると1世帯200円を公民館支援費として寄付する「公民館運営支援事業」です。

九州電力と比較して基本料金を5%ほど安く設定していました。



(いちき串木野市)

**宇** 宇城市では、平成28年熊本地震における対応を視察。避難所運営では、初期は行政職員、中・長期は避難者が対応となっていました。行政職員は後まで行政職員対応となつたので、今後は住民自らの避難所運営訓練の実施や教職員の協力体制確立、民間企業への委託も検討されています。

初動対応は一部の部署に業務が集中したところなどから、初動対応マニュアルの整備などに現在取り組んでいます。

宇城市は震災前より市民参加型の防災訓練をしており、その中の安否確認訓練で、消防団・民生委員・嘱託員などにより市内全域で要支援者の家を訪問し、本人と面会して状況や災害時行動に必要な機材の確認などを行っているとのことでした。

## 厚生文教常任委員会

平成30年7月10日～11日  
鹿児島県南さつま市・伊佐市

**南** さつま市では、市民の健康づくりの取り組みを視察。

生涯を通じて心身ともに健康で笑顔あふれる明るい生活を送れることを目的に設立された市民主体による百寿委員会では、実践しながら健康づくりと生きがいづくりに取り組みしています。

健康寿命を延ばす事業として、高齢者元氣度アップポイント事業、よか湯だなり事業、健康ポイント事業など実施しています。健康ポイント事業は、生活習慣の見直しと健康寿命の延伸を図ることを目的に、健診や健康教室、スポーツイベントやボランティアなどの参加によりポイントをもらい、最大1万円分の商品券をもらえるという事業です。



(伊佐市)

**伊** 佐市では、子ども支援対策を視察。

子育て支援は、行政の保健師がネットワークの核となっていることが特徴で、地域の支援機関との役割分担ができ、療育を受ける子どもや保護者の支援体制も必然的に連携がなされ、保健、福祉、医療の人材、支援機関等がうまくつながって取り組んでいます。

発達支援は、早期気づき・早期支援が必要で、関係者全体で発達を見極める目を育てることが必要不可欠のことです。早期支援を受けた子どもたちは、就学前には予想以上の成長をしているということでした。

## 産業建設常任委員会

平成30年7月23日～24日  
鹿児島県鹿屋市・宮崎県日南市

**鹿** 鹿屋市では、畜産振興の取り組みを視察。鹿屋市は畜産新規就農者の確保として、畜産担い手定着促進事業、地域おこし協力隊制度の活用、畜産関係の大学生と鹿屋市内の畜産農家との交流プログラムの取り組みをしています。

畜産担い手定着促進事業は新たに就農しようとする者に対して、市内の畜産農家での最大2年間の農業研修や就農時に必要な助成を行い、円滑な就農を促進するもので、農業研修資金と就農開始資金の助成をしています。

畜産関係の大学生と鹿屋市内の畜産農家との交流プログラムでは、鹿屋市の畜産が抱える課題解決への若者のアイデア等を期待し、取り組まれていました。

**日** 南市では、企業誘致の取り組みを視察。IT企業の誘致では、平成28年4月以降13社のIT企業と立地協定を締結しています。平成30年6月には105名の新規雇用が生まれている状況です。

IT企業誘致の効果として、商店街の空き店舗対策と若者の雇用創出の二つの課題解決の他、働く場を商店街につくることで、IT企業の社員が商店街で食事をするなどして商店街の消費者人口の増加につながり、相乗効果も生まれてきているようです。



(日南市商店街)